

イメージダウンのニュースを見たとき、どうする？

インターネット (SNS) で、有名人のイメージがダウンする
ニュースを見たAさんとBさんは、こんなことをした。

【ニュース】
有名人〇〇が炎上！

あの人気有名人〇〇が
テレビ番組で問題発言！
イメージ悪化！

〇〇さん⇒



ゆるせないと思って……

「〇〇は人としてダメ！
もう見たくないから
テレビに出ないで！」

+ SNSに書きこみ



面白そうだから……

〇〇にはきょうみない
けど、面白そうだから
みんなに広めてみよう。

SNSで広めた



SNSの書きこみは、だれかをきずつけるかもしれない。

インターネット (SNS) やテレビで、さまざまなニュースを見聞きすることがありますよね。
いいニュースも、悪いニュースもあるし、ニュースを見た人が感じることも、思うこともさまざまです。
たとえば、有名人のイメージがダウンするニュースを見て「ゆるせない」と思った人が、SNSなどに
悪口を書きこんだり、「面白そう」と思った人がニュースを広めたりすると、有名人がきずついてしまいます。
インターネットに自分の意見を書きこむときや、他人の意見にさんせいするときに、だれか(有名人も、そう
じゃない人も)をきずつけないようにしましょう。



わたしはこう思うけれど、
本当のことかわからないから、
書きこみはやめておこう。

このニュースを広めると、
きずつく人がいるかも。
ぼくは広めないでおくよ。



やさしさを持ってインターネット (SNS) を使いましょう。

保護者の皆さまへ

テレビやインターネットで、有名人や個人の不適切行為に関するニュースを見たり、SNSで「トラブルになった」という投稿を見たりしたとき、どのように感じるか、どのような意見を持つかは自由です。
そんなとき、「あの人が悪い」「あの企業が悪い」などといった誰かを傷つける内容を投稿することや、傷つける内容を拡散する行為は、誹謗(ひぼう)中傷になる場合があり、内容によっては民事上・刑事上の責任を負います。
書き込んだ本人にとっては一回でも、言われる側には無数の言葉の矢となって刺さってしまうのです。
お子様には、誹謗中傷が命を奪う行為であることを理解してもらえらるような情報リテラシー教育が必要です。

